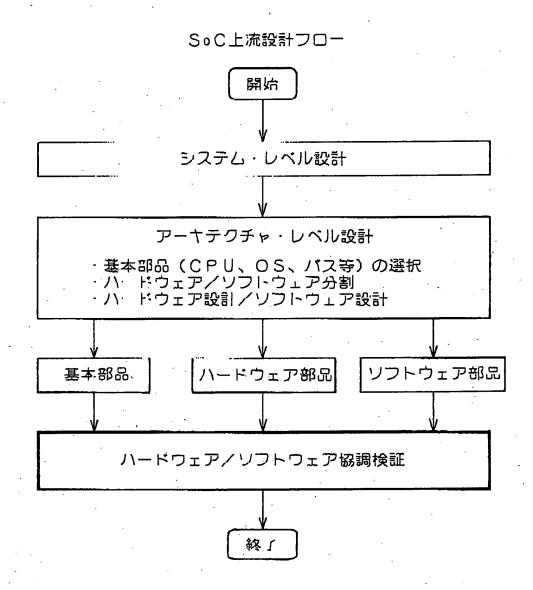
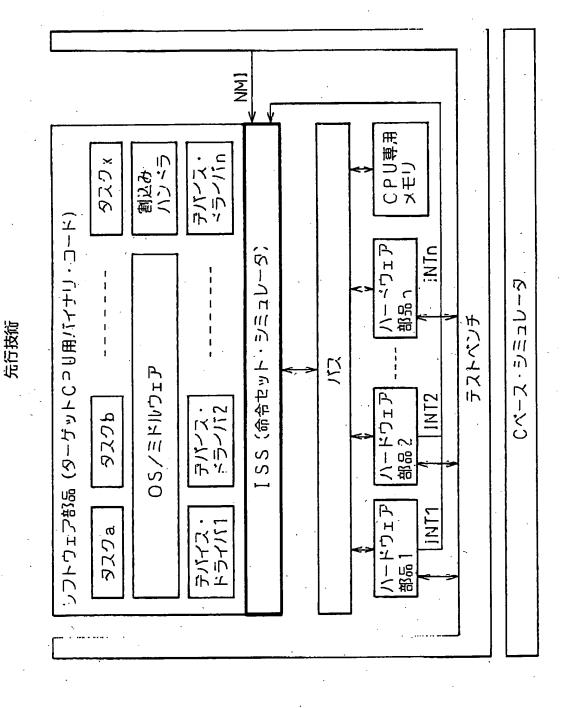
Fig. 1

先行技術

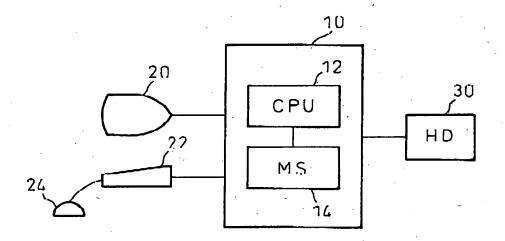


 $\frac{2}{12}$



F . g . .

Fig. 3 _{先行技術}



アントウェア	の声響手程	検証モ	検証モテルの作成方法	成方法	検証モデル
明日		変換1*1	翜更*2	変換2*?	の記述言語
0S/ ミドルウェア	ANSI-C	1	***	0	Cペース 言語
割込み ハンドラ	ANSI-C及び アセンブリ言語	0	1	0	Cペース 言語
ずバナスドライバ	ANSI-C及び アセンブリ言語	0	0	0	こペース言語
タスク	ANS I -C	_	1	0	型型 とーかり

*1:アセンブし言語記述部分のANSI-C記述への変換(人手) *2:「バスへの直接READ/WRITEアクセス」に関する変更(人手) *3: Jrtimsdンフトウェア部品からTimedソフトウェア部品への変換(自動)



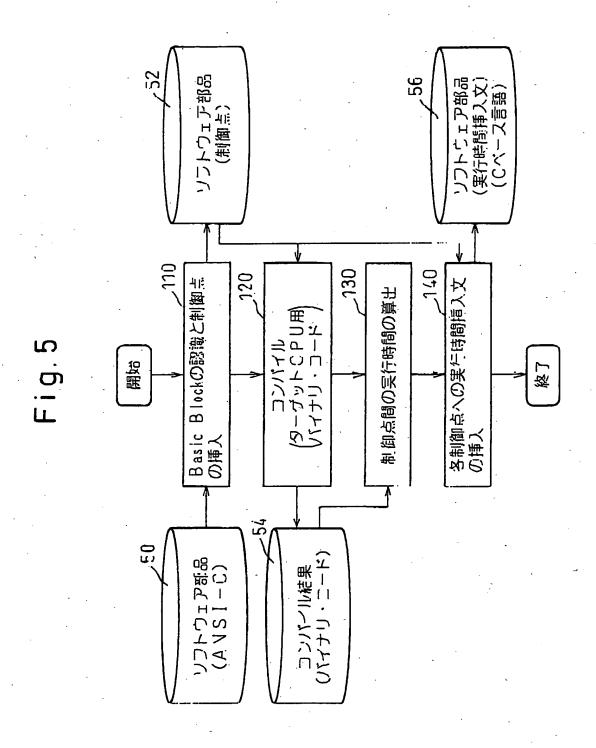
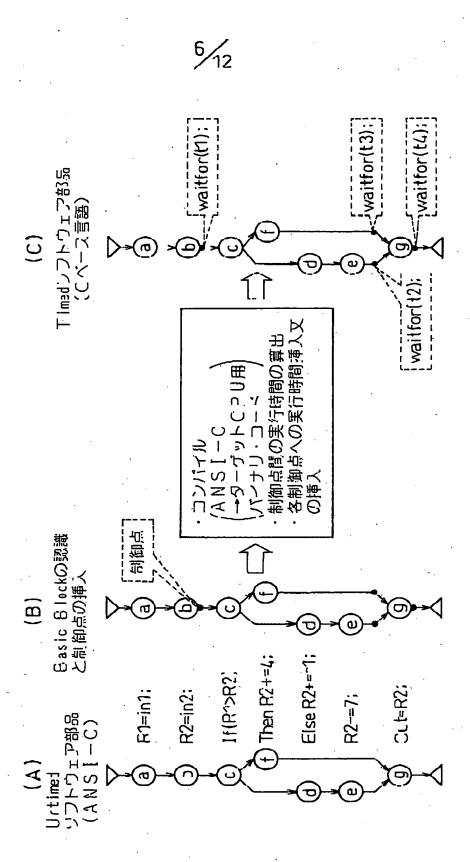
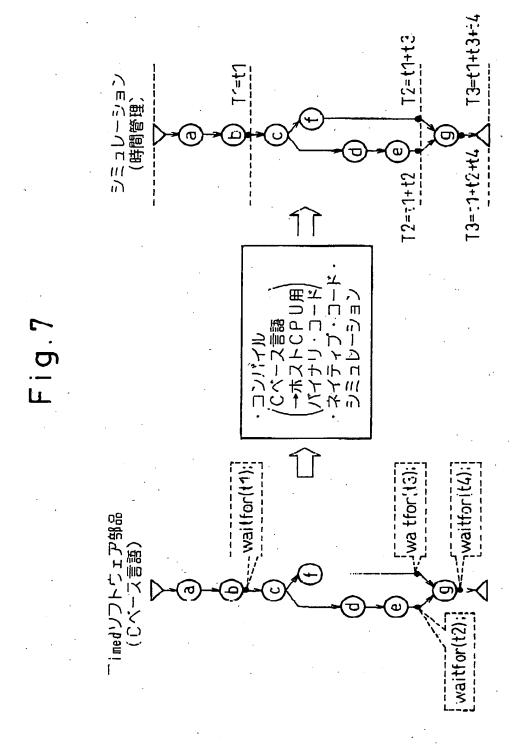
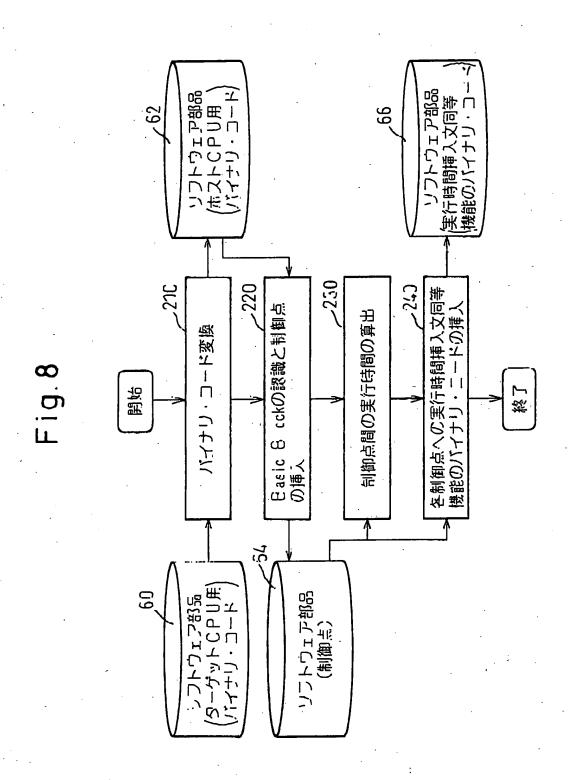


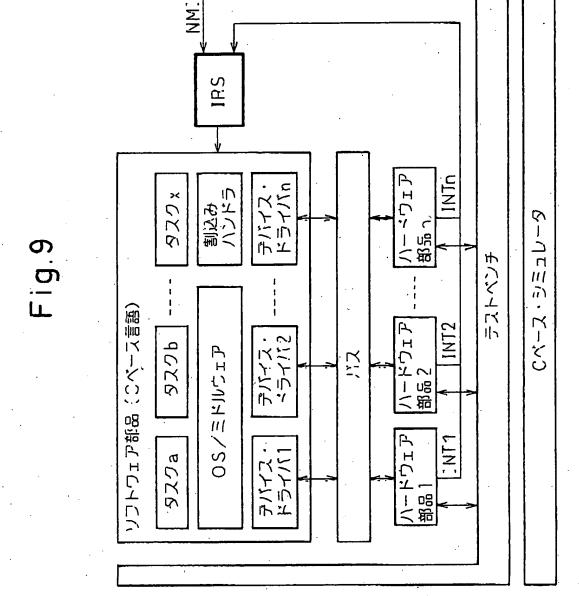
Fig.6



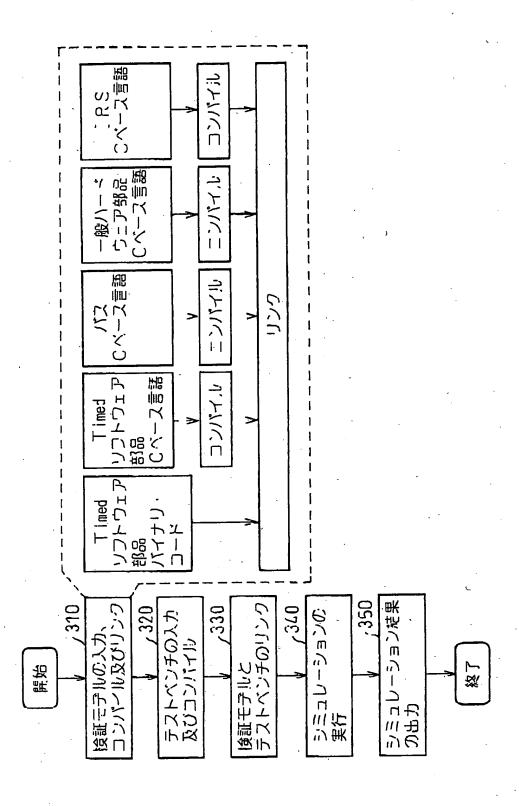








10/12



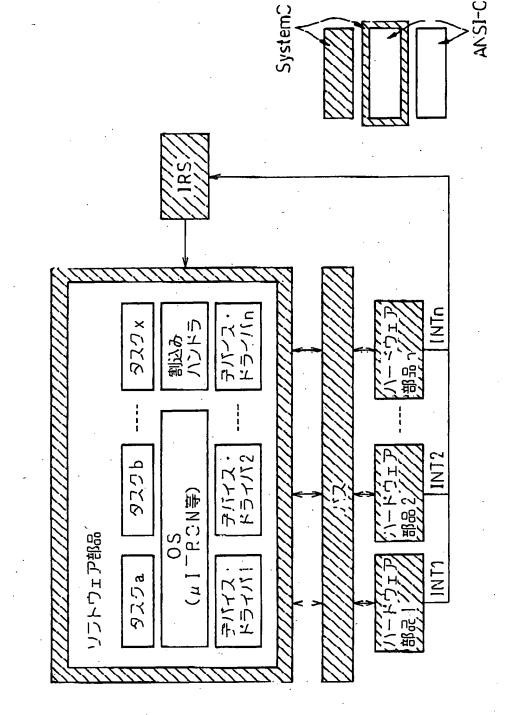


Fig. 11

Fig.12

